

6-2 飛驒地方の微小地震活動（1988年10月～1989年11月）

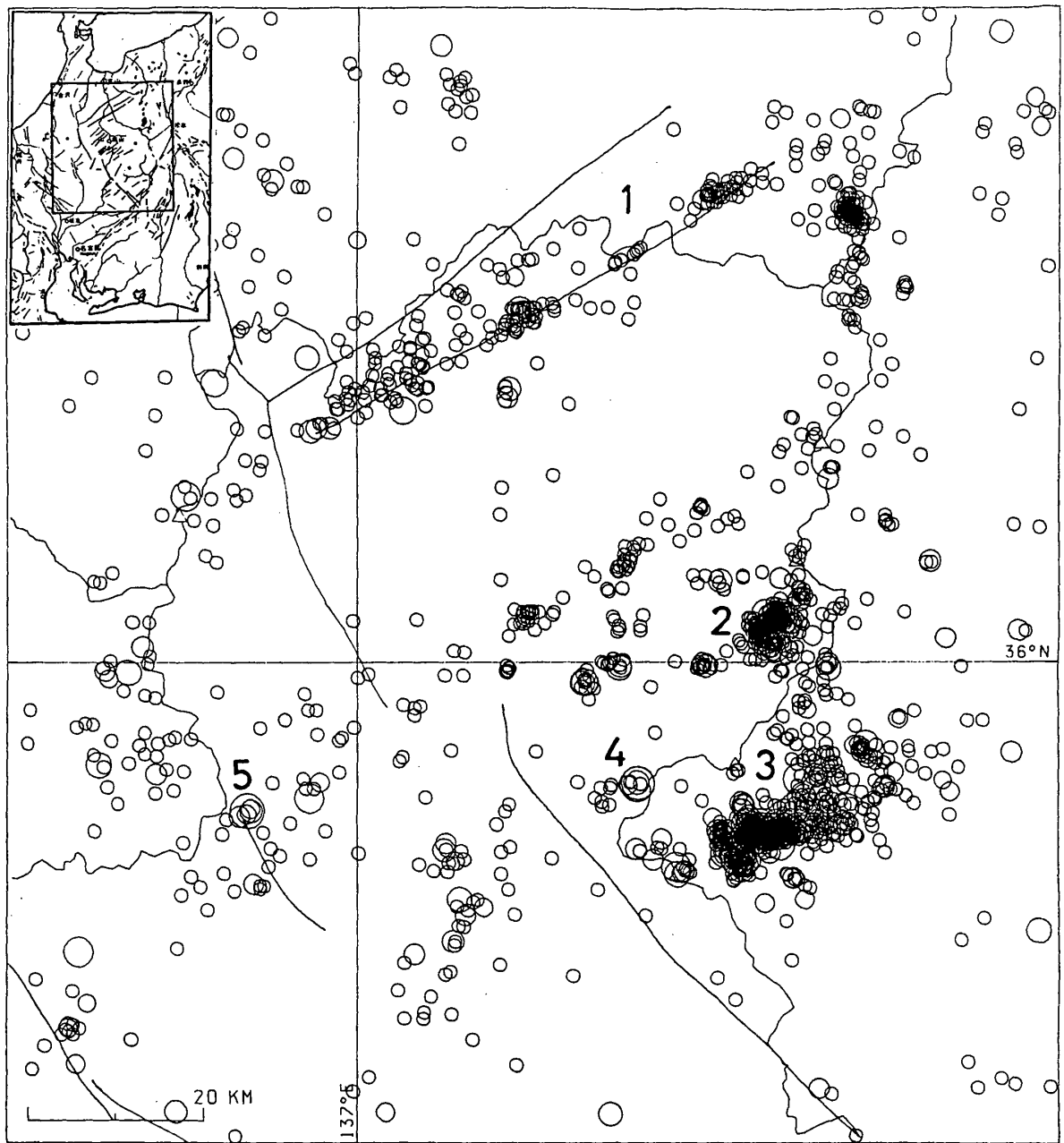
Microearthquake Activity in the Hida District
(Nov. 1, 1988 – Oct. 31, 1989)

名古屋大学理学部 高山地震観測所
Takayama Seismological Observatory
School of Science, Nagoya University

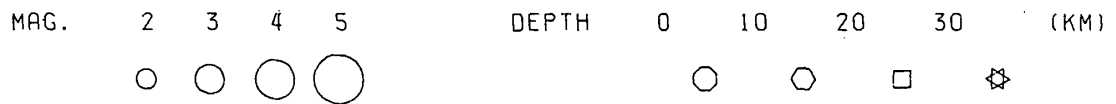
第1図はこの地方における1988年11月より1989年10月までの地震活動状況を示したものである。
図中に番号を付した活動のうち主なものは次の通りである。

- (1) 跡津川断層の活動であり、顕著な線状配列がみられる。
- (2) 1986年3月以来、飛驒山脈の乗鞍岳南方に継続している群発活動で2月21日M3.8、9月22日M3.0、M3.0の地震があった。
- (3) 長野県西部地震の余震活動であり、 $M \geq 3.0$ の地震が、この1年間に30個発生した。
- (4) 長野県西部地震の活動後活発化した地域であり、10月13日M3.2 (JMA)、10月22日M3.1 (JMA) の地震が発生した。
- (5) 岐阜県白鳥町付近の地震であり、6月25日M3.5 (JMA) の地震があった。

NOV. 1 '88 - OCT. 31 '89



N=2295 S.D.< 0.10



第1図 飛騨地方における震央分布 (1988年11月~1989年10月)

Fig. 1 Epicenter distribution in the Hida District. (Nov. 1, 1988 - Oct. 31, 1989)